

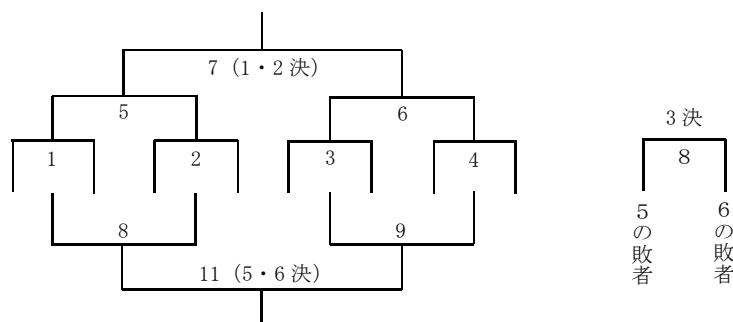
加盟各高等学校長 殿

神奈川県高等学校体育連盟
会 長 山田 五郎
バドミントン専門部長 都丸 利幸

第 57 回神奈川県高等学校総合体育大会バドミントン競技
平成 31 年度 全国高等学校体育大会
第 70 回全国高等学校バドミントン選手権大会神奈川県予選
兼 第 74 回国民体育大会少年の部選手選考会 実施要項

このことにつきまして下記要項の通り開催致しますので貴校関係職員のご派遣ならびに生徒の参加につきまして格別のご配慮をお願い申し上げます。

1. 主 催 神奈川県高等学校体育連盟 神奈川県バドミントン協会
2. 主 管 神奈川県高等学校体育連盟バドミントン専門部
3. 後 援 神奈川県教育委員会
4. 日時会場 別紙の通り
5. 競技規則 平成 31 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則ならび大会運営規定による。
6. 競技方法
 - 1) 学校対抗
 - ア) トーナメント戦方式による。
 - イ) ダブルス 2 組・シングルス 3 名で行う。
試合順序は、ダブルス 1－ダブルス 2－シングルス 1－シングルス 2－シングルス 3 とする。なお、シングルス 1 出場者以外はダブルスとシングルスを兼ねて出場できる
 - ウ) 1 対抗戦は 3 マッチ先取とする。
 - 2) 個人対抗
 - ア) 9 地区で予選を行う。県大会出場数は地区予選参加数により 14 ページに示す通りである。
 - イ) 地区予選・県大会ともトーナメント戦方式とする。
 - ウ) シングルスとダブルスを行う（兼ねて出場できる）。申し込み後の選手の変更はいかなる場合も認めない。
 - エ) 各地区の順位決定戦は下図を原則とする。



- 3) 県代表
学校対抗は優勝校、個人対抗は上位 2 名 2 組を代表とする。

7. 参加資格

- 1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

- 2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒であり、平成 31 年度(公財)日本バドミントン協会及び神奈川バドミントン協会に登録を完了したものであること。
- 3) 年齢は平成 12 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技の出場は 3 回までとし、同学年での出場は 1 回限りとする。
- 4) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- 5) 再編統廃合対象による合同参加を認める。
- 6) 転校後 6 ヶ月未満のものは参加を認めない。外国人留学生もこれに準じる。ただし一家転住等やむを得ない場合は専門部長の承認があればこの限りではない。
- 7) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、在籍する学校長の承認を必要とする。
- 8) 参加資格の特例
 - ア. 1) 及び 2) に定める生徒以外で、3) ～ 7) の大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟が認めた生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 3) の但し書きについて、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技 3 回限りとする。
8. 参加制限 個人対抗の参加は、各校男女とも 2 名 2 組迄とする。ただし、前年度新人戦の大会結果に基づき、県大会ベスト 4 に入った選手(組)の学校に、その該当数を加える。
9. 参加申し込み
 - 1) 所定の参加申込書を作成し電子データをウェブ申込み先に送信すること。またそれを打ち出したものに公印を押し、裏面に参加料払込み票の写しを添付したものを郵送すること。
 - 2) 申込場所(申し込み用紙の送付先)については 12 ページを参照すること。
 - 3) 申込期日 **平成 31 年 4 月 15 日(月) 正午必着**
10. 参加料 **1 チーム : 5,000 円 (個人) 1 名(1 組) : 1,000 円**
(高校総体学校対抗は、1 チームにつき男女それぞれ専門部運営負担金 1,000 円が別途必要です。)
11. 使用シャトル 平成 31 年度(公財)日本バドミントン協会検定第 1 種合格球
12. 組み合わせ
 - 1) 地区予選の組み合わせは各校顧問による組み合わせ会議で行う。
(各顧問の旅費は学校負担とする。)
 - 2) 県大会組み合わせは神奈川県高体連バドミントン専門部競技委員会で行う。
組み合わせ日時 4 月 24 日(水) 14:30～(団体) 会場： 高校
5 月 15 日(水) 14:30～(個人) 会場：湘南高校
13. 諸連絡
 - 1) 服装は(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
 - 2) 上衣の背面の表示は、各地区マネージャー会議で配付される「背面の学校名・県名表示について」を参考にすること。ゼッケン使用の場合も同一基準とする。
 - 3) 審判(主審)は顧問又は、3 級・準 3 級審判有資格生徒、地区ルール講習会受講者が行うこと。線審学校対抗登録選手も行うことができる。
 - 4) 出場チーム、選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は出場選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とし、個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者)も可とする。ただし「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、所定の用紙に必要事項を記入し、本専門部委員長に提出すること。監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
 - 5) 平成 31 年度の(公財)日本バドミントン協会および神奈川県バドミントン協会への未登録の生徒の出場はできない。監督・マネージャーも登録を必ず済ませておくこと。
 - 6) 大会参加には、所定のオーダー用紙(300 円)を使用すること。
 - 7) 監督は 7 ページの大会参加心得を選手及び応援生徒に徹底させること。

※ 大会に参加されない学校は各地区競技委員(12 ページ)まで必ず連絡してください。